



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 オルガノ株式会社

上場取引所 東

コード番号 6368 URL <http://www.organo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 内田 裕行

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長

(氏名) 秋元 英良

TEL 03-5635-5111

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	40,087	△8.0	△981	—	△741	—	△468	—
25年3月期第3四半期	43,563	0.8	1,432	△31.1	1,657	△12.1	1,066	52.1

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 △262百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 1,163百万円 (110.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△8.13	—
25年3月期第3四半期	18.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	76,968	43,925	57.1
25年3月期	85,309	45,207	52.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 43,925百万円 25年3月期 44,766百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
26年3月期	—	4.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,000	0.4	500	△85.7	550	△85.9	350	△86.4	6.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	57,949,627 株	25年3月期	57,949,627 株
26年3月期3Q	345,102 株	25年3月期	339,153 株
26年3月期3Q	57,608,217 株	25年3月期3Q	57,615,266 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(追加情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の金融緩和政策、円安などを背景に、緩やかな景気回復に向かいつつあり、世界経済も債務危機に苦しむ欧州経済や成長に減速がみられていた中国をはじめとする新興国経済にも底入れ感が出始めていますが、全体としては未だ先行き不透明なまま推移しました。

当社グループを取り巻く市場環境は、国内では企業の設備投資、生産活動に緩やかな持ち直しが見られるものの、本格的な回復には至らず、主たる海外市場であるアジア地域においても、価格競争は一段と激しさを増しており、引き続き厳しい状況にあります。

このような状況の下、当社グループは、平成25年度より3ヵ年の中期経営計画をスタートさせ、水処理事業分野における顧客のあらゆるニーズに対して、ワンストップソリューション(One Stop Solutions)が提供できる企業グループの実現を目指し、事業ポートフォリオの転換をさらに加速させ、機動的な開発・製造・営業体制の構築を目指すとともに、一層のコストダウン、工事力の強化により、収益の改善に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間は受注高49,893百万円(前年同期比10.2%増)、売上高40,087百万円(同8.0%減)、営業損失981百万円(前年同期は営業利益1,432百万円)、経常損失741百万円(前年同期は経常利益1,657百万円)、四半期純損失468百万円(前年同期は四半期純利益1,066百万円)となりました。

事業のセグメント別業績は次のとおりであります。

[水処理エンジニアリング事業]

当事業におきましては、国内では受注は産業全般で増加がみられるものの、電力分野をはじめとする産業全般で設備投資やメンテナンス、改造工事の延期などにより売上が減少しました。一方、海外では電子産業分野を中心に順調に推移し、受注及び売上ともに増加しました。営業利益は売上高の減少や売上構成の変化、採算性の低下などにより減少しました。この結果、受注高35,207百万円(前年同期比14.9%増)、売上高25,748百万円(同12.5%減)、営業損失1,873百万円(前年同期は営業利益711百万円)となりました。

[機能商品事業]

当事業におきましては、顧客工場の操業度が緩やかに回復している中で、受注及び売上はほぼ前連結累計期間並みとなる一方、採算を改善した結果、受注高14,685百万円(前年同期比0.3%増)、売上高14,339百万円(同1.5%増)、営業利益892百万円(同23.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ8,340百万円減少し、76,968百万円になりました。これは主に、受取手形及び売掛金9,477百万円の減少によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ7,058百万円減少し、33,043百万円となりました。これは主に、借入金3,732百万円及び支払手形及び買掛金3,100百万円の減少によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,282百万円減少し、43,925百万円になりました。これは主に、配当金の支払及び四半期純損失の計上に伴う利益剰余金1,044百万円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年10月28日に公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」の業績予想から変更はありません。なお、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項（法定実効税率を使用する方法）に準じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,809	8,211
受取手形及び売掛金	31,427	21,949
リース投資資産	7,902	9,322
商品及び製品	3,978	3,866
仕掛品	5,248	4,857
原材料及び貯蔵品	923	1,058
繰延税金資産	839	1,505
その他	1,653	1,936
貸倒引当金	△112	△102
流動資産合計	60,671	52,605
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,428	17,520
減価償却累計額	△10,199	△10,561
建物及び構築物（純額）	7,228	6,959
機械装置及び運搬具	4,937	5,013
減価償却累計額	△4,106	△4,228
機械装置及び運搬具（純額）	830	784
土地	12,494	12,495
建設仮勘定	84	16
その他	4,144	4,202
減価償却累計額	△3,444	△3,570
その他（純額）	699	631
有形固定資産合計	21,338	20,887
無形固定資産	326	374
投資その他の資産		
投資有価証券	1,207	1,371
繰延税金資産	1,456	1,428
その他	470	454
貸倒引当金	△161	△152
投資その他の資産合計	2,972	3,101
固定資産合計	24,637	24,362
資産合計	85,309	76,968

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,024	11,924
短期借入金	10,848	8,265
未払法人税等	646	183
前受金	1,513	2,902
繰延税金負債	7	5
賞与引当金	954	315
製品保証引当金	147	143
工事損失引当金	290	226
その他	2,558	1,971
流動負債合計	31,991	25,938
固定負債		
長期借入金	4,053	2,902
繰延税金負債	4	9
退職給付引当金	3,959	4,074
その他	92	118
固定負債合計	8,110	7,105
負債合計	40,101	33,043
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,225	8,225
資本剰余金	7,508	7,508
利益剰余金	29,397	28,352
自己株式	△325	△327
株主資本合計	44,805	43,758
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	186	248
繰延ヘッジ損益	△0	9
為替換算調整勘定	△225	△91
その他の包括利益累計額合計	△39	166
少数株主持分	441	—
純資産合計	45,207	43,925
負債純資産合計	85,309	76,968

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	43,563	40,087
売上原価	32,344	30,939
売上総利益	11,218	9,147
販売費及び一般管理費	9,786	10,129
営業利益又は営業損失(△)	1,432	△981
営業外収益		
受取利息	21	39
受取配当金	145	18
固定資産賃貸料	23	23
為替差益	66	234
持分法による投資利益	7	—
その他	73	49
営業外収益合計	338	366
営業外費用		
支払利息	97	76
持分法による投資損失	—	33
その他	14	16
営業外費用合計	112	126
経常利益又は経常損失(△)	1,657	△741
特別利益		
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産廃棄損	7	2
投資有価証券評価損	8	—
施設利用権評価損	7	0
その他	—	0
特別損失合計	23	3
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,634	△743
法人税等	543	△274
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,090	△468
少数株主利益	23	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,066	△468

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	1,090	△468
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28	62
繰延ヘッジ損益	△0	9
為替換算調整勘定	45	133
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	72	206
四半期包括利益	1,163	△262
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,128	△262
少数株主に係る四半期包括利益	34	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	水処理エンジニアリング 事業	機能商品 事業	計	
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	29,434	14,128	43,563	43,563
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	29,434	14,128	43,563	43,563
セグメント利益	711	720	1,432	1,432

(注) セグメント利益は、営業利益ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業利益との間に差異はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	水処理エンジニアリング 事業	機能商品 事業	計	
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	25,748	14,339	40,087	40,087
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	25,748	14,339	40,087	40,087
セグメント利益又は損失(△)	△1,873	892	△981	△981

(注) セグメント利益又は損失は、営業利益又は営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業損失との間に差異はありません。

(追加情報)

完全子会社7社との合併契約

当社は、平成25年12月24日開催の取締役会において、平成26年4月1日を効力発生日としたうえで、当社を存続会社として、完全子会社である以下7社を吸収合併することを決議し、平成25年12月25日に合併契約を締結いたしました。

(合併の対象となる連結子会社)

オルガノ北海道株式会社

オルガノ東北株式会社

オルガノ東京株式会社

オルガノ中部株式会社

オルガノ関西株式会社

オルガノ九州株式会社

(合併の対象となる非連結子会社)

オルガノ山下薬品株式会社

合併契約の概要は、次のとおりであります。

(1) 合併の目的

当社グループは、これまで地域ごとのニーズに機動的に対応するべく、各地域に設立した子会社による営業・販売体制をとってまいりました。しかし、各種産業における国内生産拠点の統廃合・海外移転の流れをはじめ、当社グループを取り巻く市場環境は大きく変化しつつあります。

当社グループは、これらの変化に適切に対応でき、今後の更なる成長を実現させる体制・基盤づくりを検討してまいりましたが、この度経営資源の集中と効率化、市場での競争力強化による中長期的な事業拡大を目的として、これら子会社を吸収合併することといたしました。

合併後はオルガノ株式会社の本社並びに各地域の支店を国内の営業・販売窓口とし、お客様へのより一層のサービス向上、全国各地域における事業拡大を推進してまいります。

(2) 合併の方法

当社を存続会社とする吸収合併方式で、オルガノ北海道株式会社、オルガノ東北株式会社、オルガノ東京株式会社、オルガノ中部株式会社、オルガノ関西株式会社、オルガノ九州株式会社及びオルガノ山下薬品株式会社は解散いたします。

(3) 吸収合併に係る割当ての内容

完全子会社の吸収合併のため、本合併による株式その他の金銭等の割当てはありません。

(4) 合併の期日

平成26年4月1日

(5) 吸収合併消滅会社の概要

① 商号	オルガノ北海道株式会社	オルガノ東北株式会社
② 本店の所在地	北海道札幌市東区北7条東5丁目8番37 北オルビル	宮城県仙台市青葉区本町1丁目11番1号
③ 代表者の氏名	代表取締役社長 塩見 正樹	代表取締役社長 神林 常雄
④ 資本金の額	20百万円 (平成25年3月31日現在)	20百万円 (平成25年3月31日現在)
⑤ 純資産の額	464百万円 (平成25年3月31日現在)	210百万円 (平成25年3月31日現在)
⑥ 総資産の額	1,189百万円 (平成25年3月31日現在)	1,060百万円 (平成25年3月31日現在)
⑦ 事業の内容	水処理設備、装置の製造、販売、メンテナンス及び水処理薬品の販売	水処理設備、装置の製造、販売、メンテナンス及び水処理薬品の販売

① 商号	オルガノ東京株式会社	オルガノ中部株式会社
② 本店の所在地	東京都江東区新砂1丁目2番8号	愛知県名古屋市中区葵1丁目27番29号
③ 代表者の氏名	代表取締役社長 古内 力	代表取締役社長 佐々木 正一
④ 資本金の額	40百万円 (平成25年3月31日現在)	20百万円 (平成25年3月31日現在)
⑤ 純資産の額	673百万円 (平成25年3月31日現在)	593百万円 (平成25年3月31日現在)
⑥ 総資産の額	4,565百万円 (平成25年3月31日現在)	2,536百万円 (平成25年3月31日現在)
⑦ 事業の内容	水処理設備、装置の製造、販売、メンテナンス及び水処理薬品の販売	水処理設備、装置の製造、販売、メンテナンス及び水処理薬品の販売

① 商号	オルガノ関西株式会社	オルガノ九州株式会社
② 本店の所在地	大阪府吹田市江の木町1番6号	福岡県福岡市中央区白金1丁目4番2号
③ 代表者の氏名	代表取締役社長 下畑 昌樹	代表取締役社長 梅香 豊
④ 資本金の額	50百万円 (平成25年3月31日現在)	20百万円 (平成25年3月31日現在)
⑤ 純資産の額	1,320百万円 (平成25年3月31日現在)	538百万円 (平成25年3月31日現在)
⑥ 総資産の額	4,818百万円 (平成25年3月31日現在)	3,409百万円 (平成25年3月31日現在)
⑦ 事業の内容	水処理設備、装置の製造、販売、メンテナンス及び水処理薬品の販売	水処理設備、装置の製造、販売、メンテナンス及び水処理薬品の販売

① 商号	オルガノ山下薬品株式会社
② 本店の所在地	広島県広島市西区観音本町2丁目3番23号
③ 代表者の氏名	代表取締役社長 柴田 芳昭
④ 資本金の額	10百万円 (平成25年3月31日現在)
⑤ 純資産の額	67百万円 (平成25年3月31日現在)
⑥ 総資産の額	186百万円 (平成25年3月31日現在)
⑦ 事業の内容	水処理薬品、水処理装置、機能材の販売及び各種メンテナンス

(6) 吸収合併存続会社となる会社の概要

① 商号	オルガノ株式会社
② 本店の所在地	東京都江東区新砂1丁目2番8号
③ 代表者の氏名	代表取締役社長 内田 裕行
④ 資本金の額	8,225百万円 (平成25年3月31日現在)
⑤ 純資産の額	36,492百万円 (平成25年3月31日現在)
⑥ 総資産の額	68,574百万円 (平成25年3月31日現在)
⑦ 事業の内容	水処理設備、装置の製造、販売、メンテナンス及び水処理薬品、食品加工材の販売